

症候と疾患から迫る！ ERの感染症診療

疑い、探し、組み立てる実践的な思考プロセス

大野博司／編



序	3
略語一覧	11
カラーアトラス	13
執筆者一覧	16

序章 ERで感染症診療をはじめる前に

1 ERではどのように発熱患者にアプローチしていくか 近藤 猛 …… 18

- 1 重症患者を見分ける
- 2 フォーカスを絞り込む
- 3 熱の経過・随伴症状を役立たせる
- 4 背景の聴取で方針が変わる

2 ERでの感染症診療に役立つ検査と微生物学的検査 生化学、画像検査／培養、迅速キット …… 見坂恒明 …… 25

- 1 救急外来での感染症診療
- 2 感染症の重症度判断と生化学検査
- 3 感染臓器の同定と画像診断
- 4 原因微生物の検討：塗抹・培養検査
- 5 原因微生物の検討：迅速抗原検査・毒素検査

One More Experience ● 敗血症性ショックは致死的疾患

第1章 救急での症候からのアプローチ

- 1 ERでの呼吸困難** 鶴和幹浩 36
1鑑別診断 **2**鑑別ポイント **3**初期対応 **4**専門医へのコンサルテーション
One More Experience ●至適な SpO₂ はいくらか？
- 2 ERでの咽頭痛** 野中優江, 吉永孝之 44
1診断のポイント **2**診断・治療の組み立て方
- 3 ERでの意識障害** 能勢裕久 51
1意識障害患者の初期対応(基本のキ!! ABC) **2**バイタルサイン **3**病歴聴取 **4**専門医へのコンサルテーション
- 4 ERでの腹痛**
 この悩ましき主訴 花木奈央, 稲田真治 58
1鑑別疾患 **2**ここが鑑別ポイント **3**初期対応 **4**専門医へのコンサルテーション
- 5 ERでの腰背部痛** 上田剛士 64
1鑑別疾患 **2**ここが鑑別ポイント **3**脊椎椎体・椎間板炎の画像評価 **4**腰痛症と感染性心内膜炎
- 6 ERでの「不明熱」** 福地貴彦 72
1ERでの「不明熱」とは **2**鑑別疾患 **3**初期対応 **4**専門医へのコンサルテーション
One More Experience ●心エコーの重要性
Pros & Cons ●不明熱は何科が担当する？
- 7 ERでの耳の痛み** 朽谷健太郎 80
1鑑別診断 **2**ここが鑑別ポイント **3**初期対応 **4**見逃してはいけない疾患
Pros & Cons ●急性中耳炎の初期治療で抗菌薬が必要か？
- 8 ERでの赤眼**
 red eyeへのアプローチ 北 和也 87
1緊急性の判断: 敵を知り己を知らば百戦危うからず! **2**対応の手順: ペンライト試験とフルオレセイン染色で、緑内障発作、角膜障害を除外する! **3**各論: 鑑別診断について
One More Experience ●細菌性結膜炎には即キノロン点眼? delaying antibiotic therapyの勧め
- 9 ERでの下痢** 忽那賢志 96
1鑑別疾患 **2**ここが鑑別ポイント **3**初期対応
One More Experience ●便グラム染色の意義

10 ERでの黄疸 ————— 世良俊樹 …… 102

1 鑑別疾患 2 ここが鑑別ポイント 3 初期対応 4 専門医へのコンサルテーション
One More Experience ● 黄疸＝消化器と思ったら…

11 ERでの関節痛 ————— 菊地英豪 …… 108

1 鑑別のポイント 2 検査のオーダー 3 専門医へのコンサルテーション
One More Experience ● 治療に反応しない単関節炎？
Pros & Cons ● 関節リウマチ患者に痛風は合併しない？

12 ERでの発疹 ————— 日比野誠恵 …… 113

1 全身性皮疹／紅斑 2 紫斑性疾患 3 水疱膿疱性疾患 4 局所性皮疹

13 ERでの排尿時痛・会陰部痛 ————— 船越 拓 …… 121

1 commonな疾患を診断する 2 致命的疾患（Fournier壊疽）を知る
Pros & Cons ● 尿路感染症にはST合剤が第一選択薬か

第2章 原因疾患へのアプローチ

1 ERでのかぜ症候群 ————— 飯田和正 …… 126

1 診断のポイント 2 考えられる微生物 3 治療 4 ERでのコミュニケーションと外来フォロー
One More Experience ● 最低限必要な病歴と身体所見について ● かぜ症候群と抗菌薬 ● 咳止めについて

2 ERでの細菌性上気道感染症 咽頭炎、鼻副鼻腔炎 ————— 弓場達也 …… 133

1 診断のポイント 2 考えられる微生物 3 診断・治療の組み立て
One More Experience ● 診断・治療で覚えておきたいこと
Pros & Cons ● 急性咽頭炎にペニシリン系を使うべきか否か？

3 ERでの市中肺炎 ————— 宇留賀公紀，岸 一馬 …… 140

1 市中肺炎の対象は？ 2 病歴聴取・身体所見のポイントは？ 3 行うべき検査は？ 4 重症度・入院の必要性の評価 5 考えられる微生物 6 治療
One More Experience ● 結核を見逃すな！ ● マクロライド耐性マイコプラズマ ● 肺炎に対するマクロライドの投与
Pros & Cons ● 肺炎治療にステロイドは使うか？

4 ERでの医療ケア関連肺炎 ————— 村田研吾 …… 146

1 診断のポイント 2 考えられる微生物と治療法 3 診断・治療の組み立て方

5 ERでの中枢神経感染症

髄膜炎, 脳炎, 脳膿瘍 ————— 中山晴雄 …… 153

1 細菌性髄膜炎の症例 2 髄膜炎治療の要点 3 脳膿瘍の症例 4 脳膿瘍治療の要点

One More Experience ● 髄液検査におけるLDHとCPK ● 髄膜炎治療に対する腰椎ドレナージ術

6 ERでの血流感染症・血管内デバイス感染症

中心静脈ライン, 心ペースメーカー ————— 大八木秀和 …… 163

1 血流感染症 2 ペースメーカー感染症 (またはCIED感染症)

One More Experience ● ポートの見落としに注意

7 ERでの感染性心内膜炎

————— 岸野喜一, 永井利幸 …… 172

1 診断のポイント 2 診断・治療の組み立て方

One More Experience ● 心雑音のはっきりしないIE

8 ERでの皮膚軟部組織感染症① 丹毒, 蜂窩織炎

————— 佐藤信宏 …… 179

1 診断のポイント 2 考えられる微生物と治療法 3 診断・治療の組み立て方

Pros & Cons ● 蜂窩織炎の患者って全例血液培養はとるべきなの？

9 ERでの皮膚軟部組織感染症② 壊死性筋膜炎

————— 滝本浩平 …… 185

1 壊死性筋膜炎の一般的な知識 2 壊死性筋膜炎の診断 3 治療 4 診断と治療の組み立て

10 ERでの尿路感染症

膀胱炎・腎盂腎炎 ————— 山中和明 …… 190

1 診断のポイント 2 考えられる微生物 3 診断・治療の組み立て方 4 治療

One More Experience ● 見逃してはならない鑑別疾患 ● 繰り返す膀胱炎の予防法について ● 無症候性細菌尿に騙されてはいけない! ● 再発を繰り返す, または難治性の膀胱炎の場合, 以下のことを想定 ● 3日間の腎盂腎炎治療の後に効果不良の場合, 想定すべきこと

Pros & Cons ● *Staphylococcus aureus* が尿培養で検出された場合, 尿路感染の起因菌か? ● ESBL産生大腸菌に対する抗菌薬の選択

11 ERでの腹腔内感染症① 虫垂炎, 憩室炎

————— 畑 啓昭 …… 198

1 診断のポイント 2 考えられる微生物と治療法 3 診断・治療の組み立て方

One More Experience ● 虫垂炎と食欲 ● 抗菌薬投与後の培養検査

12 ERでの腹腔内感染症② 胆管炎, 胆嚢炎

————— 川嶋修司 …… 205

1 急性胆管炎 2 急性胆嚢炎

13 ERでの性行為感染症① 尿道炎, 陰部ヘルペス

————— 安東栄一 …… 211

1 急性尿道炎 2 性器ヘルペス 3 患者への情報提供

14 ERでの性行為感染症② 骨盤内炎症性疾患，膣炎——吉本 昭……216

1 骨盤内炎症性疾患（PID） 2 膣炎について

One More Experience ● PIDにおける抗菌薬の選択について

15 ERでの骨感染症

脊椎炎——小熊麻子……223

1 脊椎炎の原因，診断，治療

One More Experience ● 入院中の対応，安静の重要性！

16 ERでの創部感染症

抗菌薬予防投与，破傷風予防——吉田 暁……229

1 創部感染予防の原則 2 裂創や挫創などの予防的抗菌薬 3 開放骨折・関節腔に達する外傷 4 動物咬傷 5 破傷風予防

One More Experience ● ナイロン糸ドレナージ

第3章 Advanced：ERでの特殊な患者層の感染症診療

1 免疫不全患者の感染症の考え方——羽山ブライアン，岩田健太郎……236

1 まず疑うことから 2 The “commons” are common 3 「免疫不全+発熱→感染症」の思いこみは危険 4 免疫不全は分類が重要

2 HIV/AIDS患者——内藤俊夫……240

1 感染者の特徴 2 救急・ERでのHIV/AIDS

3 担癌患者の感染症① 固形腫瘍——櫻井隆之……247

1 ERでの固形腫瘍の担癌患者 2 固形腫瘍と感染症 3 一般の患者層との違い 4 注意すべき感染症

Pros & Cons ● 固形腫瘍担癌患者に検査・治療をするべきか？

4 担癌患者の感染症② 血液腫瘍（リンパ腫，多発性骨髄腫）

——土橋映仁……252

1 リンパ腫 2 多発性骨髄腫

5 化学療法中の感染症

発熱性好中球減少症——村上 純……256

1 発熱性好中球減少症（FN）の定義・重症度 2 どのような臓器，細菌の感染がみられるか 3 FN患者の初期評価 4 高リスク患者のマネジメント 5 低リスク患者のマネジメント 6 治療期間—いつまで抗菌薬投与を続けるか

6 透析患者特有の感染症 血液透析・腹膜透析・その他…………… 末田善彦 …… 266

1 バスキュラーアクセス感染症（VA 感染症） 2 CAPD 関連感染症 3 多発性嚢胞腎患者の嚢胞感染

Pros & Cons ● 長期留置カテーテルの抗菌薬ロックに関して

7 糖尿病患者の感染症…………… 吉藤 歩, 伊藤 裕 …… 273

1 一般患者層との違い 2 糖尿病患者の感染症の実際

8 ステロイド・免疫抑制薬投与患者の感染症…………… 奥 健志 …… 279

1 一般患者層との違い 2 注意すべき感染症 3 ワクチン投与に関する留意点

9 脾臓摘出後の感染症…………… 加藤哲朗 …… 283

1 脾臓の役割と脾臓摘出後の状態 2 脾臓摘出後感染症の臨床像 3 脾臓摘出後感染症のマネジメント

One More Experience ● 脾臓摘出後と液性免疫障害

10 肝硬変患者の感染症…………… 柏木秀行 …… 287

1 肝硬変患者の免疫と感染症 2 診断と治療

One More Experience ● 感染症以外の疾患にも注意

11 性的暴行後の感染症…………… 久保健児 …… 292

1 一般患者層との違い 2 性暴力後のSTIでコモンなものは？ 3 STIに対する初期評価として行うべき検査 4 性暴力後のSTI予防 5 HIV 曝露後予防の考え方 6 性暴力後のSTIに関するフォローアップ

12 帰国者の発熱…………… 右近智雄 …… 298

1 マラリアの診断 2 熱帯熱マラリアの診療 3 熱帯熱マラリア以外のマラリア 4 帰国者の発熱：病歴のとり方と鑑別診断

第4章 急性期・クリティカルケアでの感染症診療

1 敗血症の補助的治療…………… 貝沼関志 …… 304

1 下部消化管穿孔 2 薬剤性腸炎，特にNSAIDs 起因性腸炎について 3 ARDS について 4 肺保護戦略について 5 EGDT でのアルブミン投与 6 カテコラミン投与 7 バソプレシン投与 8 ハンプ® 投与と利尿薬投与について 9 ステロイド投与 10 DIC の診断 11 DIC の治療 12 PMX-DHP 13 敗血症における血液浄化法—CRRT と CHDF 14 γ グロブリン投与について 15 経腸栄養の効果

One More Experience ● 敗血症性ショックへの初期蘇生

第5章 ERで注意すべき微生物

1 インフルエンザ ————— 加藤英明 …… 318

1 基本情報と歴史的背景 2 臨床症状と治療 3 治療のポイント 4 予防

One More Experience ● 治療薬の選び方

Pros & Cons ● 抗ウイルス薬投与に対する諸外国と日本の違い

2 結核 ————— 松本智成 …… 323

1 診断のポイント 2 治療のポイント 3 医療関係者の結核感染予防

One More Experience ● QFTを発病診断に使う場合の落とし穴：QFT陰性だからといって結核は否定できない ● 入院時スクリーニングの落とし穴 ● BCGは感染予防策ではない

Pros & Cons ● 結核患者の入院について

3 新興感染症

ウエストナイルウイルス，鳥インフルエンザ，SARS，市中感染型MRSA

————— 三木智子，岡 秀昭 …… 332

1 米国旅行後，発熱と弛緩性麻痺をきたした症例 2 インフルエンザ罹患後，新たに呼吸器症状をきたした症例

One More Experience ● 鳥インフルエンザとSARS ● CA-MRSA感染の高リスクグループ

第6章 ERでの抗菌薬

1 一般市中感染症で使われる内服抗菌薬 ————— 森 英毅 …… 340

1 感染臓器，患者の状態を検討する 2 原因微生物を検討する 3 内服抗菌薬を検討する 4 患者の心理社会的背景を考慮する

One More Experience ● 抗菌薬選択で留意すべきこと

2 一般市中感染症で使われる静注抗菌薬 ————— 尾田琢也 …… 345

1 アンピシリン・スルバクタム 2 セファゾリン 3 セフトリアキソン 4 アジスロマイシン 5 シプロフロキサシン

3 重症感染症・医療ケア関連感染症で使われる静注抗菌薬

————— 根井貴仁，三浦義彦 …… 351

1 バンコマイシン 2 アミカシン 3 ピペラシリン・タゾバクタム 4 セフェピム 5 メロペネム

One More Experience ● アミノグリコシド系抗菌薬の1日1回投与法